

図書館司書一年生

清家 有希

2011年4月、念願の図書館司書として大分県佐伯市のNPO法人カルチャー佐伯（佐伯市立図書館）に勤務することとなった。生まれ育った地元であり、慣れ親しんだ場所で司書として働けることをとても嬉しく思っている。そんな図書館司書一年生の私が普段行っていることを紹介したいと思う。

1. 仕事内容

佐伯図書館は成人用の一般カウンターと児童用の児童カウンターの二つで利用者に対応している。日々、どちらかのカウンターを担当し本の貸し出し・返却・レファレンス業務をしながら、各自分担された仕事を行っている。私の担当は、利用者の登録書・データの管理、利用者から寄せられた本のリクエストカード用紙の管理、開架書架の管理である。

利用者の登録書・データの管理は、年間約 1000 人の新規登録、既登録者の住所等の変更申請があり、カウンター業務の合間に登録者カードのファイリングと登録書及びPCデータの修正を行っている。

本のリクエストカードの管理はリクエスト用紙を出してくれた人にきちんとリクエストがかかっているかの確認、その本に複数の利用者がリクエストしていたらリクエスト用紙が出された順に予約がかかっているかの確認を行う。この時、リクエストが入った本が延滞していることがわかれば早く返却してもらえるように電話連絡をしている。

開架書架の整理は書架が一杯で本を置くスペースがない場所・本が平積みされているところを中心に貸し出し回数の少ない本を調べ、抜き出して書庫に持って行きスペースをつくっている。

また、順番に移動図書館車（こぐま号）の補助業務を行っている。903 km²の面積の佐伯市は、図書館まで来たいが遠くて来られないという利用者が多くいる。このような利用者のために市内の小学校・保育所・公民館・介護施設をメインに現在約 90 のステーションを設け市内を順番に巡回し本の貸し出しを行っている。専任の司書だけでは大規模の小学校に行ったときに人が殺到し対応しきれなくなるため補助として同乗し手伝いに行っている。行った先々で「こぐま号が来てくれるから本当に助かっている」「こぐま号が来てくれる日をいつも楽しみにしている」という声を利用者の方からいただくとても嬉しく思う。

担当業務以外にもカウンター業務のほかに書架整理、ブックポストの回収、本・紙芝居の修理など行わなければならないことがたくさんある。



移動図書館車こぐま号の様子

2、レファレンス業務

司書をしているうえで一番苦労していることがレファレンス業務である。公共図書館であるため老若男女様々な人が来館される。その一人ひとりにあつたレファレンス業務をしないといけないので一苦労である。本の所在位置、利用に関する質問など容易に回答できるものはよいが、郷土資料に関する質問、歴史に関するものなど時間をかけなければならない難しいものは他の司書と協力しながら回答している。私が実際に受けたレファレンスで道端に生えている花を摘んできて「この花の名前を知りたい」というものがあった。その花の花弁・葉の形・季節等を考慮し回答したが、「こんなレファレンスまでくるのか」と思った瞬間でもあった。また、利用者によってはあいまいな情報しかわからない方、質問内容が漠然とし過ぎていてある方がいる。このような方々にいかとうまくレファレンスインタビューをして最適な資料を時間をかけずに案内するか日々勉強中である。

3、来館数・貸し出し冊数増加のために

佐伯市の一人当たりの平均年間読書冊数は約3冊と全国平均5冊を下回っている。全国平均値まで上げるため一人でも多く来館し、1冊でも多くの本を借りてもらうため佐伯図書館では様々なイベントを企画している。その一つが「図書交換市」である。10月の1ヶ月間に利用者の方に家庭で読まなくなった本や雑誌を持ってきてもらい1冊につき1枚の交換券と交換し、交換市当日に交換券1枚と好きな本1冊（全集はシリーズ全て）を交換してもらうものである。図書館からも寄贈でいただいた本や除籍本を出し、多くの本を準備する。毎年好評で多くの方に参加してもらい、交換市に来たついでに図書館の本も借りていってもらっている。



← 図書交換市の様子

また、児童を対象にした「ブック・スタンプラリー」というものを行った。これは子ども達に様々なジャンルの本を読んでもらうことを目的に1ヵ月間スタンプを集める期間を設けたものである。スタンプを集めてもらい「子どもフェスタ」というお祭りの日に抽選会を行った。スタンプカードを準備しスタンプカードに書かれた分類記号の本・小説（読み物）・絵本・紙芝居を借りたらスタンプ1つを押し、スタンプが6個たまったら1回くじを引けるというルールを作り子ども達に参加してもらった。対象年齢別に絵本・紙芝居を中心としたカード（こぶたコース）、小説（読み物）を中心としたカード（こぐまコース）、勉強のための本を中心としたカード（チャレンジコース）の3種類を準備し、多くの子ども達に自分にあったカードに挑戦してもらった。その結果、図書館に来る子どもの数が増え、様々なジャンルの本を借りる姿を見ることが出来た。



ブック・スタンプラリーのカード

これらのイベントの他にも月に一度映画を上映したり、毎週土曜日に図書館ボランティアの方に絵本・紙芝居の読み聞かせを行ってもらったりと、図書館に来ていただくための企画を立てている。

図書館司書になってまだまだ日が浅く、いたらない面が多くあるので、様々な経験を積んでいきたいと思っている。

(せいけ・ゆき NPO法人カルチャー佐伯 (佐伯市立図書館))